

平成22年3月29日

四国地方整備局

土佐国道事務所

地方部におけるバス案内システムの構築に向けて

～利用者アンケート結果を公表します～

高齢者が多く、公共交通の便数が少ない地方部においても、持続的な運用が可能で安価なバス案内システム（バスロケーションシステム^(注)）の構築に役立てるため、実証実験および利用者アンケート調査を下記日程にて実施いたしました。この度、アンケート調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

今後は、継続してバス案内システムが運用できるよう、関係機関との調整を図ります。

記

アンケート調査概要

1. 実施期間

平成22年2月26日（金）～3月11日（木）

2. 実施場所

高知県安芸郡田野町（国道55号沿い） 田野役場前バス停（上り、下り）

3. 調査方法

バス停にてアンケート用紙を配布

4. 有効回答数

133人

5. アンケート調査結果

別紙結果の概要の通り

バスロケーションシステム^(注)：GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に関連します。

(お問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所

電話 088-884-0359 (代表)

副 所 長 河野 一郎 (内線) 204

○計 画 課 長 中川 敏正 (内線) 261

○：主な問い合わせ先

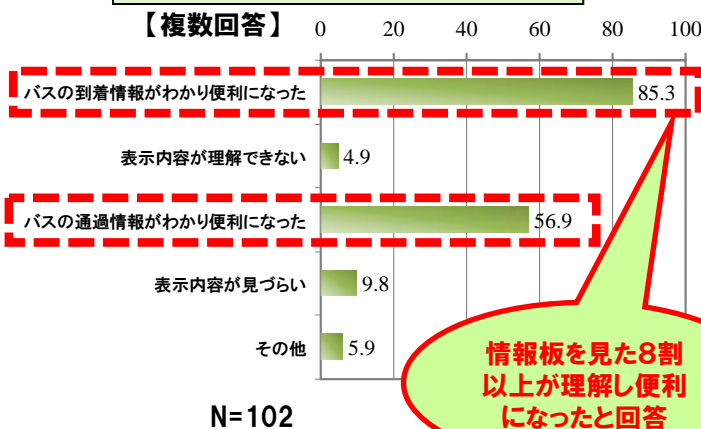
アンケート調査概要

国道55号の田野役場通バス停及び道の駅田野駅屋において、2月26日(金)から3月11日(木)にかけてバスの利便性向上等を目的とした地域バス情報システムの実証実験を行いました。また実験期間中、田野役場通バス停から乗車する利用者を対象にバス案内システムの効果・検証及び地域利用者ニーズを把握するためアンケート調査を行いました。

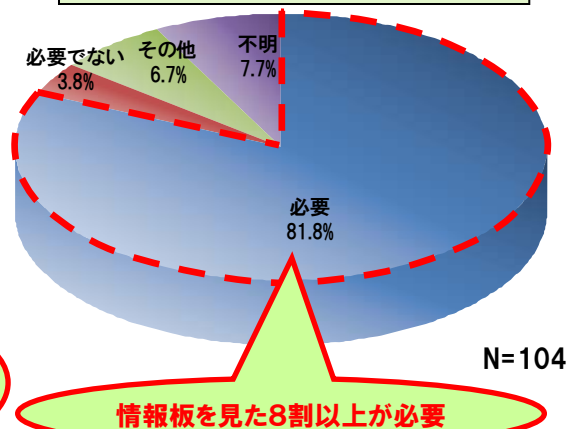
アンケート結果概要

- アンケート回答数
 - ・133名(男性 45名、女性 77名、未記入 11名)
- 接近・通過情報の理解度
 - ・情報板を見た8割以上の利用者が接近情報がわかり便利、5割以上の利用者が通過情報がわかり便利と回答。
- 提供情報の必要性
 - ・情報板を見た8割以上の利用者が接近・通過情報は必要と回答。
- 道の駅でのバス待ち可能性
 - ・道の駅情報板を見た7割以上の利用者が道の駅でバスを待てるようになったと回答。
- 接近・通過情報以外の要望
 - ・「乗りたい場所へバスが来てくれるようなこと」への要望が最も多く、バスの走行位置および乗り継ぎ情報の要望も多い。

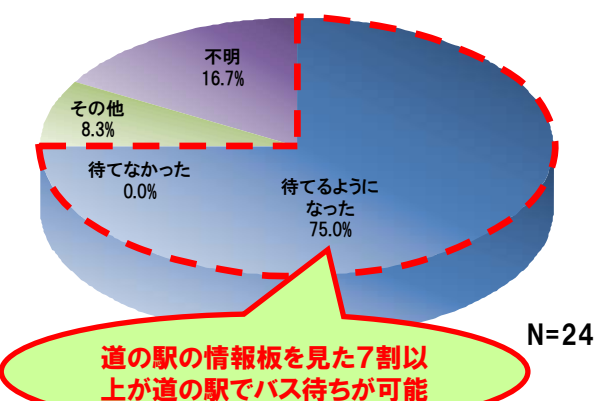
【接近・通過情報の理解度】



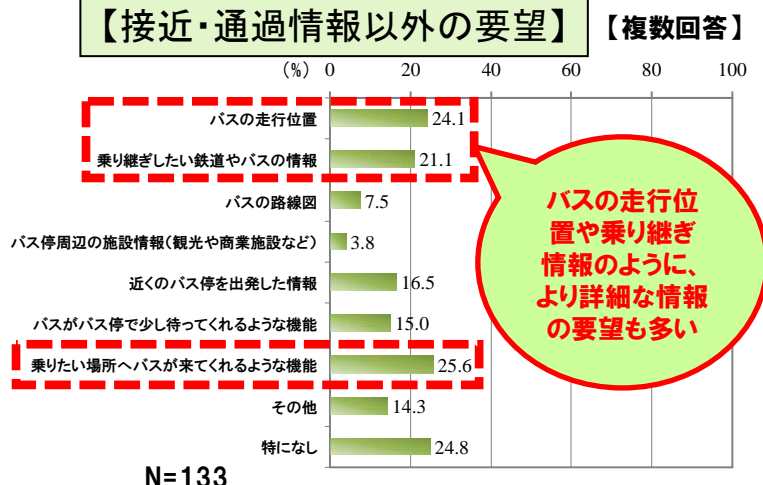
【接近・通過情報の必要性】



【道の駅でのバス待ち可能性】



【接近・通過情報以外の要望】



実証実験

田野役場通バス停及び道の駅(田野駅屋)内において、安芸～甲浦線及び安芸～室戸岬線の路線バスを対象に到着予定時間・通過時間情報を提供します。

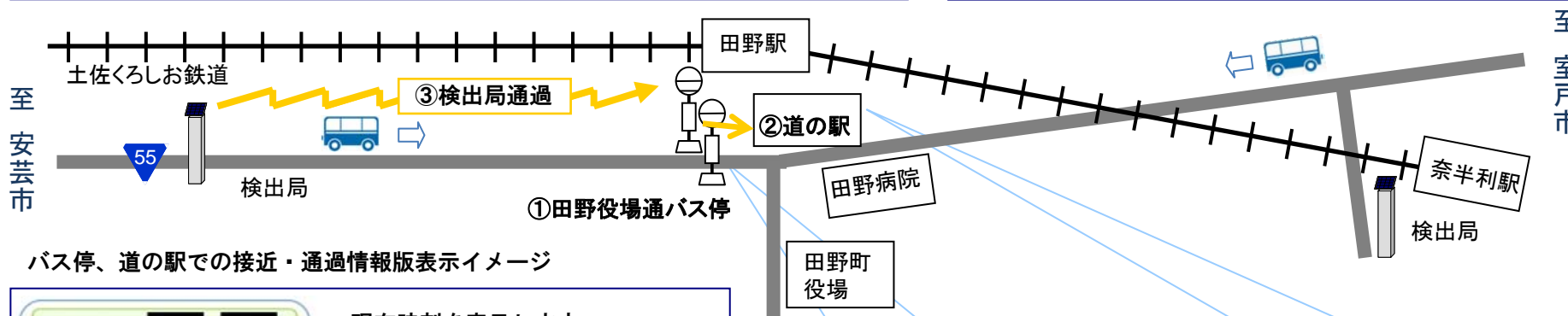
- ①バス停(上り・下り)のバス接近・通過情報を提供
- ②田野役場通バス停の接近・通過情報を道の駅施設内で情報提供
- ③バス停の通過時間を蓄積し、旅行時間計測(プローブ)に活用

アンケート調査について

今回の実証実験を行うバス案内システムの効果・検証及び地域利用者ニーズを把握するためアンケート調査を行います。

アンケート配布場所：田野役場通バス停(上り・下り)
アンケート結果により、今後より良いシステムの構築に役立てます。

実験場所



バス停、道の駅での接近・通過情報版表示イメージ

現在時刻 07:31	← 現在時刻を表示します。
次のバスは 07:33 に到着予定です	← 次のバス到着予定時刻を表示します。
あと2分です	← 【接近情報】 あと何分でバスが到着するか表示します。
07:33 のバスは 出発しました	← 【通過情報】 出発したバスの時刻を表示します。

①バス停(上り・下り)のバス接近・通過情報を提供

あと2分で着きます

②田野役場通バス停の接近・通過情報を道の駅施設内で情報提供

あと2分で着きます
バス停に行かなきゃ